



障害を知り共に生きる

あいサポート運動

～まず、知ることからはじめましょう～

様々な障害の特性や障害のある方が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でちょっとした配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）をみなさんと一緒につくっていく運動です。

あいサポート運動は、平成21年11月鳥取県で、平成23年10月には広島県でスタートし、連携して取り組んでいます。

あいサポーターとは

様々な障害の特性、障害のある方が困っていること、障害のある方への必要な配慮などを理解して、日常生活において障害のある方が困っているときなどに、ちょっとした手助けをする意欲がある方であれば誰でもなることができます。



あいサポート企業・団体とは

社員等を対象として、テキスト「障害を知り、共に生きる」を読むことを推奨することやあいサポーター研修等に取り組んでいただける企業・団体等で、法人格の有無を問いません。

- ・企業
- ・学校
- ・企業以外の法人
- ・団体
- ・事務所・事業所

あいサポート企業・団体になるためには

県に認定申請していただき、次のような、取組を行ってください。

- (1) 「あいサポート研修」の実施
- (2) 「あいサポートバッジ」の着用推奨
- (3) テキスト「障害を知り、共に生きる」を読むことを推奨
- (4) 事務所、店舗、社用車などへステッカーまたはチラシ等の掲示
- (5) 自社広告物、自社ホームページでの「あいサポート運動」の掲載
- (6) 自社機関誌での、社員などの障害のある方へのサポート等の取組の紹介

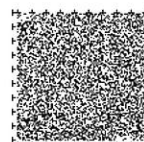
あいサポーターになるためには

各種講演会・研修会・イベント等に参加し、あいサポート運動に関する説明等を受けてください。



あいサポートマークについて

障害のある方を支える「心」を2つのハートを重ねることで表現しました。後ろの白いハートは障害のある方を支える様子を表すとともに、「supporter(サポーター)」の「S」を表現しています。





誰もが暮らしやすい共生社会の実現のため、
あいサポート運動の趣旨をご理解いただき、
できることからご参加ください。



[受講者の声]

障害全般

- 障害の種別により、ひとくりにすることなく、その人その人に応じた対応の大切さを知ることが出来ました。
- 色々な障害のある方がいらっしゃって、その人に合った支援や合理的配慮を行うことは、なかなか難しいと思いましたが、気配り・心配りをしていきたいです。
- DVDの保護者やご本人の話が具体的なこととして聴けました。
- 分かりやすい内容で理解が進んだ。話も具体的に自分が、もしその場に居たならと考えながら話をお聞きした。またこういった研修を受けたいと思いました。



車いす・白杖体験

- 実際に体験させてもらって障害者の気持ちが分かりました。これからは、あとちょっとの勇気を出してみんなの役にたてるようにしたいです。
- アイマスクをして白杖を持ってやってみました。とてもこわかったし、不安でした。視覚障害の方たちの気持ちを考えてあげることが大切だなと思いました。
- 今まで区別がつかなかったし、興味が無かったけど、この勉強を通じて理解が深まりました。体験もして、どんな暮らしをしているかもよく分かって良かったです。これから障害のある人が困っていたら役に立てるようにしたいです。



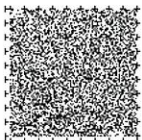
障害者差別解消法について

- 合理的配慮の具体例をグループワークによって、実際の業務で考え、さらに理解が深まりました。
- 今後自分の業務におきかえて、もう少し深掘りして考えてみようと思いました。
- サポーターとして出来ることから始めたいと思います。
- イベント等へ多様な人たちが、参加しやすくするための配慮について、気付きを得られ、参考になりました。
- 合理的配慮について、一人ひとりに対して考えていかなければならないことを改めて思いました。



※「あいサポート研修」の講師役や、職場内での障害者の相談役となる「あいサポートリーダー」の研修も行っています。

※あいサポート運動にご協力いただけるサポーターや企業・団体を募集しています。



[あいサポーターやあいサポート企業・団体等に関する申込先・問合せ先]

広島県 健康福祉局 障害者支援課

〒730-8511 広島市中区基町10-52

TEL:082-513-3157 FAX:082-223-3611

広島県 あいサポート運動

検索

